

丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

換気不十分がもたらす不具合事例

事例ー1



管理スペース給気口



管理スペース排気ファン



屋外給排気口

管理スペースの天井に結露が発生しました。

その原因は、換気量の不足にありました。よって、結露により排気ファンの絶縁低下と蛍光灯の漏電が生じました。

給気口、排気ファン吸い込み口、屋外給気・排気口のステンレス金網を開放した結果、数分の間に天井の結露水の消えたのが分かります。給排気口の埃除去清掃は不可欠ですが、給排気口は目詰まりのしない、目の粗い金網が適切と判断致します。

事例ー2



管理スペース給気口



管理スペース排気ファン



臭気配管

当該処理槽の管理スペースの換気は、自然給気と排気ファンで成り立っています。

給気口より給気された空気はブローに吸気され、処理槽に入った空気は曝気のと臭気配管を通して屋上に排気されています。

一方、排気ファンは管理スペースの強制換気を行います。給気された空気の一部はブローに回ります。

また、給気口金網の埃での詰まりは、排気に必要な空気量の不足を招きます。

その結果、臭気配管で屋上に排気される臭気が、排気ファンより少し屋外に強制排気され、その周辺に臭気が漂う現象が生じました。

この場合の換気は、給気・排気ともファンの設置が、給気の強制・排気の自然の方が臭気が外部に排出され難いと考えますが……。

水物語 No37 福島県喜多方市の1,000本！しだれ桜



Walkerプラス(角川書店) 2017年版全国お花見1000景東北部門第1位！

東京では桜の開花時期を迎えました。震災から6年が過ぎた東北地方でも、間もなく桜が咲こうとしています。福島県喜多方市では、かつて喜多方駅と熱塩駅を結び、公共交通に貢献した鉄道路線を記念して、その跡地がお花見の遊歩道となっています。3kmにわたって1000本のしだれ桜が咲き乱れ、壮大なスケールの桜並木が楽しめます。民俗学者・柳田国男によると、昔は「枝垂(しだ)れ桜」は、死者をまつる場所に植えられていました。人々は、樹木の枝が枝垂れるという現象に特別な力を感じ、そこに神霊や魂が宿る、と考えました。黄泉の国からやってきた死者の霊は、枝垂れた枝に宿り、現世の人々との交流を行ったのでしょう。美しい桜の花を求めて、大勢の人々が今年も東北地方を訪れます。

柳田国男著『しだれ桜の問題』(「信州随筆」柳田国男全集第22巻)より

汚泥ゼロ・臭気ゼロ

ハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京